「国際サーキュラーエコノミー(CE)の未来と政策形成に向けた官民勉強会」を初開催

・メルカリとイーベイが主催、販売者と共に 知見・経験を提供

・日本型のサーキュラーエコノミーモデルの国際展開に向けての第一歩

世界最大規模のオンライン・マーケットプレイス「eBay(イーベイ)」は今年設立30周年を迎えました。 eBayにおける日本セラーの越境EC(海外販売)を支援するイーベイ・ジャパン株式会社(所在地:東京都渋谷区、代表取締役社長:岡田 雅之、以下イーベイ・ジャパン)と株式会社メルカリ(所在地:東京都港区、代表執行役CEO:山田進太郎)は、日本型サーキュラーエコノミー(CE)モデルの国際展開に向けた勉強会を開催し、環境省、経済産業省、日本貿易振興機構(JETRO)、株式会社コメ兵、ブックオフコーポレーション株式会社、(一社)リユース業協会サーキュラーエコノミー推進委員会が参加しました。

9月17日、関係する行政機関と民間事業者が一堂に会し、日本型 CE モデルの国際展開に向けた建設的な意見交換が行われました。現場の知見を政策形成に反映させる第一歩として意義深い取り組みとなり、 今後の官民連携強化への大きな一歩となりました。

■なぜ今、官民で共に日本型 CE モデルの国際展開を議論する必要があるのか

リユース市場や越境リユース EC 業界は近年急速に拡大しており、サーキュラーエコノミーを推進する新たな成長ドライバーとして注目されています。特に、米国・欧州のバイヤーからは、日本の出品者による「正確な商品説明」「高品質な中古品」が高く評価されているほか、アジア圏では日本のアニメ・ゲーム・エンタメ商品などが好感されており、日本発のリユース商材が国際市場で高付加価値を生み出している状況です。こうした背景を踏まえ、本勉強会は、資源循環と経済成長の両立を目指し、消費者や海外市場から信頼される「日本型 CE モデル」の可能性について、官民が共に理解を深めることを目的に開催されました。



■今回の勉強会により、政策形成と官民連携が一歩前進

今回の勉強会には、環境省環境再生・資源循環局資源循環課、経済産業省 GX グループ資源循環経済課、通商政策局貿易振興課、JETRO デジタルマーケティング部 EC ビジネス課が参加し、今年度、環境省が策定予定の「リユース等の促進に関するロードマップ」や経済産業省による「成長志向型の資源自律経済戦略」といった関連政策の方向性について説明が行われました。イーベイ・ジャパンおよび株式会社メルカリからは、国際市場での動向や日本から出品されるリユース商品のトレンド、大手リユース販売事業者からは国際 CE の現状と課題感が紹介され、参加者間で活発な意見交換・質疑応答が実施されました。これにより、日本型 CE モデルの現状と課題が浮き彫りとなり、今後の国際展開の進展に向けて、制度や情報連携の面ではどのような方向性が望ましいか、今後の官民連携に向けた前向きな一歩となる有意義な機会となりました。

本取り組みを通じ、官民の協働により「日本型 CE モデル」の発信を促進し、国際社会におけるサステナブルな成長へ貢献してまいります。イーベイ・ジャパンは、こうした取り組みを通じて循環型経済の促進を支援し、引き続きあらゆる官民パートナーと連携してまいります。

【eBay Inc.およびイーベイ・ジャパンについて】



eBay Inc. (米国 NASDAQ 上場、ティッカーシンボル: EBAY) は、世界の人々をつなぎ、コミュニティを創出して、すべての人の生活を豊かにする e コマースのリーダーです。当社の革新的な技術は、世界 190以上の市場で数百万人のセラー(売り手)とバイヤー(買い手)を支援し、誰もが成長し成功するチャンスを提供しています。1995年に米国カリフォルニア州サンノゼで創業された eBay は、素晴らしい価値のあるユニークな品揃えを誇る世界最大級かつ最も活気のあるマーケットプレイスの一つです。2024年には約750億ドルの総取引高を実現しました。会社情報の詳細と運営サイトの情報はこちらからご覧いただけます。https://www.ebayinc.com/

【イーベイ・ジャパン株式会社】

本社所在地:東京都渋谷区

事業内容:eBay Inc.の日本法人として、オンライン・マーケットプレイス「eBay」を通じた日本セラーの

「越境 EC」支援を行っています。 https://www.ebay.co.jp/